

2022年8月14日 午前礼拝
「ヨブ記から教えられること」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】ヨブ 42:1~6

- 1 ヨブは主に答えて言った。
- 2 あなたには、すべてができること、あなたはどんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。
- 3 知識もなく、摂理をおおい隠す者は、だれか。まことに、私は、自分で悟りえないことを告げました。自分でも知りえない不思議を。
- 4 さあ聞け。わたしが語る。わたしがあなたに尋ねる。わたしに示せ。
- 5 私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。
- 6 それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で悔いています。

【説教要約】

ヨブ記 1:1~5

- 1 ウツの地にヨブという名の人がいた。この人は潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっていた。
- 2 彼には七人の息子と三人の娘が生まれた。
- 3 彼は羊七千頭、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろば五百頭、それに非常に多くのしもべを持っていた。それでこの人は東の人々の中で一番の富豪であった。
- 4 彼の息子たちは互いに行き来し、それぞれ自分の日に、その家で祝宴を開き、人をやって彼らの三人の姉妹も招き、彼らといっしょに飲み食いするのを常としていた。
- 5 こうして祝宴の日が一巡すると、ヨブは彼らを呼び寄せ、聖別することにしてた。彼は翌朝早く、彼らひとりひとりのために、それぞれの全焼のいけにえをささげた。ヨブは、「私の息子たちが、あるいは罪を犯し、心の中でのろったかもしれない」と思ったからである。ヨブはいつもこのようにしていた。

神様は、ヨブを祝福していた。

ヨブ記 1:6~8

- 6 ある日、神の子らが主の前に来て立ったとき、サタンも来てその中にいた。
- 7 主はサタンに仰せられた。「おまえはどこから来たのか。」サタンは主に答えて言った。「地を行き巡り、そこを歩き回って来ました。」
- 8 主はサタンに仰せられた。「おまえはわたしのしもべヨブに心を留めたか。彼のように潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている者はひとりも地上にはいないのだが。」

神様は、サタンに「ヨブのように神様を恐れている者はいない」といった。

ヨブ記 1:9~12

- 9 サタンは主に答えて言った。「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか。」
- 10 あなたは彼と、その家とすべての持ち物との回りに、垣を巡らしたではありませんか。あなたが彼の手のわざを祝福されたので、彼の家畜は地にふえ広がっています。

11 しかし、あなたの手を伸べ、彼のすべての持ち物を打ってください。彼はきっと、あなたに向かってのろうに違いありません。」

12 主はサタンに仰せられた。「では、彼のすべての持ち物をおまえの手に任せよう。ただ彼の身に手を伸ばしてはならない。」そこで、サタンは主の前から出て行った。

サタンは、神様に言った。神様がヨブを祝福しているのでヨブは神様を恐れているのです。神様はサタンに言った。「ヨブのすべての持ち物をおまえ任せよう。しかしヨブの体に害を加えてはいけない。」

ヨブ記 1:13~22

13 ある日、彼の息子、娘たちが、一番上の兄の家で食事をしたり、ぶどう酒を飲んだりしていたとき、

14 使いがヨブのところに来て言った。「牛が耕し、そのそばで、ろばが草を食べていましたが、

15 シェバ人が襲いかかり、これを奪い、若い者たちを剣の刃で打ち殺しました。私ひとりだけがのがれて、お知らせするのです。」

16 この者がまだ話している間に、他のひとりが来て言った。「神の火が天から下り、羊と若い者たちを焼き尽くしました。私ひとりだけがのがれて、お知らせするのです。」

17 この者がまだ話している間に、また他のひとりが来て言った。「カルデヤ人が三組になって、らくだを襲い、これを奪い、若い者たちを剣の刃で打ち殺しました。私ひとりだけがのがれて、お知らせするのです。」

18 この者がまだ話している間に、また他のひとりが来て言った。「あなたのご子息や娘さんたちは一番上のお兄さんの家で、食事をしたりぶどう酒を飲んだりしておられました。

19 そこへ荒野のほうから大風が吹いて来て、家の四隅を打ち、それがお若い方々の上に倒れたので、みなさまは死なれました。私ひとりだけがのがれて、あなたにお知らせするのです。」

20 このとき、ヨブは立ち上がり、その上着を引き裂き、頭をそり、地にひれ伏して礼拝し、

21 そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

22 ヨブはこのようになっても罪を犯さず、神に愚痴をこぼさなかった。

ヨブは、このようになっても神様に愚痴をこぼさなかった。これはなかなか出来る事ではありません。

ヨブ記 2:2~10

2 主はサタンに仰せられた。「おまえはどこから来たのか。」サタンは主に答えて言った。「地を歩き巡り、そこを歩き回って来ました。」

3 主はサタンに仰せられた。「おまえはわたしのしもべヨブに心を留めたか。彼のように潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている者はひとりも地上にはいない。彼はなお、自分の誠実を堅く保っている。おまえは、わたしをそそのかして、何の理由もないのに彼を滅ぼそうとしたが。」

4 サタンは主に答えて言った。「皮のかわりには皮をもってします。人は自分のいのちの代わりには、すべての持ち物を与えるものです。」

5 しかし、今あなたの手を伸べ、彼の骨と肉とを打ってください。彼はきっと、あなたをのろくに違いありません。」

6 主はサタンに仰せられた。「では、彼をおまえの手に任せる。ただ彼のいのちには触れるな。」

7 サタンは主の前から出て行き、ヨブの足の裏から頭の頂まで、悪性の腫瘍で彼を打った。

8 ヨブは土器のかげらを取って自分の身をかき、また灰の中にすわった。

9 すると彼の妻が彼に言った。「それでもなお、あなたは自分の誠実を堅く保つのですか。神をのろって死になさい。」

10 しかし、彼は彼女に言った。「あなたは愚かな女が言うようなことを言っている。私たちは幸いを神から受けるのだから、わざわいをも受けなければならないではないか。」ヨブはこのようになって、罪を犯すようなことを口にしなかった。

ヨブは、このようになって「神様どうしてこんな試練を与えるのですか」とは言わなかった。

ヨブ記 2:11~13

11 そのうちに、ヨブの三人の友は、ヨブに降りかかったこのすべてのわざわいのことを聞き、それぞれ自分の所からたずねて来た。すなわち、テマン人ツォファルである。彼らはヨブに悔やみを言って慰めようと互いに打ち合わせて来た。

12 彼らは遠くから目を上げて彼を見たが、それがヨブであることが見分けられないほどだった。彼らは声をあげて泣き、おのおの、自分の上着を切り裂き、ちりを天に向かって投げ、自分の頭の上にまき散らした。

13 こうして、彼らは彼とともに七日七夜、地にすわっていたが、だれも一言も彼に話しかけなかった。彼の痛みがあまりにもひどいのを見たからである。

ヨブの友人は、7日7夜ヨブと共にいたがヨブに声をかけることはできなかった。

ヨブ記 3:1~4

1 その後、ヨブは口を開いて自分の生まれた日をのろった。

2 ヨブは声を出して言った。

3 私の生まれた日は滅びうせよ。「男の子が胎に宿った」と言ったその夜も。

4 その日はやみになれ。神もその日を顧みるな。光もその上を照らすな。

ヨブ記 3:11~13

11 なぜ、私は、胎から出たとき、死ななかつたのか。なぜ、私は、生まれ出たとき、息絶えなかつたのか。

12 なぜ、ひざが私を受けたのか。なぜ、私の吸う乳房があつたのか。

13 今ごろ、私は安らかに横になり、眠って休み、

(1)エリファズの答え：神様は何の罪も犯さない者をこのような試練には遭わせられない。罪を悔い改めれば神様は赦してくださる。と教える。

(2)ビルダテの答え：神様は正しく、ヨブの苦悩はヨブが悪いからです。神様に帰りなさい。

そうすれば神様が良いようにしてくださる。

(3)ツオファルの答え：ヨブの受けている刑罰は本来ヨブが受ける刑罰よりも軽い。ヨブが罪を悔い改めるなら、神様はヨブを赦し、安全と幸福が帰って来ると主張した。

(4)エリフの答え：エルフは3人がヨブを誤って告発したことに腹を立てた。又議論が長く続くにつれてヨブが神様よりも自分を正しいとすることを見てヨブに怒った。

(5)神様からの答え

ヨブ記 38:1~6

- 1 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた。
- 2 知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。
- 3 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。
- 4 わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。あなたに悟ることができるなら、告げてみよ。
- 5 あなたは知っているか。だれがその大きさを定め、だれが測りなわをその上に張ったかを。
- 6 その台座は何の上にはめ込まれたか。その隅の石はだれが据えたか。

今から 3500 年前に、地球は何もない上に置かれている聖書に書かれています。

ヨブ記 26:7

神は北を虚空に張り、地を何もない上に掛けられる。

ヨブは神様から「地球はどのような土台の上に置かれたか」を尋ねられたが答えることが出来なかった。ヨブは神様から地球の大きさを尋ねられています。地球の直径が2割大きくなるだけで、重力が倍になり、今の体形でも重さが2倍になります。そして空気の層が厚くなるのでえるので夏に厚い布団を着ているようになります。逆に地球の直径が2割小さくなると空気の層が薄くなり、酸素が足らなくなり生きていくことが出来ません。ヨブは地球の大きさについて答えることが出来ません。

ヨブ記 38:8

海がふき出て、胎内から流れ出たとき、だれが戸でこれを閉じ込めたか。

神様は万有引力によって海の水が流れ落ちないようにしています。ヨブは答えることが出来なかった。

ヨブ記 38:18

あなたは地の広さを見きわめたことがあるのか。そのすべてを知っているなら、告げてみよ

神様が海対陸の比を。7対3にされた。ヨブはその理由を知らない。

ヨブ記 38:26~30

- 26 人のいない地にも、人間のいない荒野にも、雨を降らせ、
27 荒れ果てた廃墟の地を満ち足らせ、それに若草を生やすのか。
28 雨に父があるか。露のしずくはだれが生んだか。
29 氷はだれの胎から生まれ出たか。空の白い霜はだれが生んだか。
30 水は姿を変えて石のようになり、深い淵の面は凍る。

全ての鉱物は溶鉱炉に入れて溶かし、その上に固体の鉱物を入れると沈みます。しかし唯一の例外は氷を水に入れると氷は水に浮きます。その理由は北海道の湖で氷が水よりも重いと魚は氷づけになり死んでしまいます。

ヨブ記 38:33

あなたは天の法令を知っているか。地にその法則を立てることができるか。

神様はヨブに尋ねます。あなたは万有引力を造ることが出来るか。この宇宙は万有引力がなければ存在できないのです。地球上の空気も万有引力がなければ宇宙のかなたに飛び散ってしまい、人間は生きることが出来ません。海の水も万有引力がなければ宇宙に飛び散ってしまい、地球上で人間が水を飲むことが出来ません。

神様は太陽と地球だけではなく、全ての物と物の間に万有引力を造られたのです。すべてのものを造るだけでも人間には出来ません。神様は物を造るだけではなくすべての物に万有引力を与えているのです。これは神様にしかできません。

$$F = 6.7 \times 10^{-11} \times m M \div r^2$$

この力が地球と空気だけでなく、地球と水、ありとあらゆるものに働くように全ての物を造られたのです。すべての物には原子核によって造られています。最近の研究で万有引力は光子（光）の相互作用によることが解っています。とにかくすごいことはこの万有引力はすべての物体に平等に働くということです。このような神様に不可能なことがあるのでしょうか。

ルカ 1:37

神にとって不可能なことは一つもありません。」

ヨブ記 38:36

だれが心のうちに知恵を置いたか。だれが心の奥に悟りを与えたか。

私たちはノーベル賞をもらった人をほめたたえるが、神様はヨブに「ノーベル賞をもらった人に知恵を与えたのは誰か」と尋ねられます。

ヨブ記 38:41

鳥の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようとき、鳥にえさを備えるのはだれか。

神様です。

マタイ 6:26

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。

ヨブ記 39:14~16

14 だちょうは卵を土に置き去りにし、これを砂で暖めさせ、
15 足でそれをつぶすことも、野の獣がこれを踏みつけることも忘れている。
16 だちょうは自分の子を自分のものでないかのように荒く扱い、その産みの苦しみがむだになることも気にしない。

神様はヨブに「このことを知っているか」と尋ねられる。ヨブは答える事が出来なかった。

ヨブ記 39:27~29

27 あなたの命令によってか。鷲が高く上がり、その巣を高い所に作るのは。
28 それは岩に宿って住み、近寄りたがい切り立つ岩の上にいる。
29 そこから獲物をうかがい、その目は遠くまで見通す。

神様はヨブに尋ねられる。「わし」が高い所に巣をつくるのはあなたの命令ですか。

ヨブ記 40:6~8

6 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた。
7 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。
8 あなたはわたしのさばきを無効にするつもりか。自分を義とするために、わたしに罪を定めるのか。

「自分を正しい」とすることは「神様が間違っている」ということです。多くの人は「自分を正しい」としています。これは、「神様は間違っている」と言っているのです。

ヘブル 9:27

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

神様は「死後に裁きを受ける」と言っておられます。これを認めないということは、「自分は正しく神様は間違っている」ということを言っているのです。

神様ご自身がヨブに質問し、ヨブは答えることが出来ない。ヨブは沈黙し自分には答えられない事を認め、悔い改める。ヨブは「神様を知っている」と思っていました、

ヨブ記 42:5~6

5 私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。
6 それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で悔いています。

苦難を通してヨブは神様についての限られた理解から、神様の偉大さと威厳と力を心で理解することになりました。そして神様の愛を心で理解するようになりました。

多くの人は「イエス様を信じているのにどうしてこんな大きな試練に会うのか」と悩みます。私たちクリスチャンが試練に遭うとき、試練の原因を探したくなります。ヨブの友達もヨブの試練の原因を探そうとします。

しかし神様の答えは、「神様のことを頭で知っていても、心で神様のことを知らないことが原因だ」ということを教えています。試練を通してでなければ神様を心で知ることはできないのです。神様は、「ヨブを苦しめているのは悪魔だ」とは一言もおっしゃっていません。悪魔は神様の許可をもらってヨブを苦しめているのです。

なぜ神様はヨブに「あなたを苦しめているのは悪魔だ」と教えないのですか。それは神様が悪魔を用いてヨブに試練を与え、ヨブが神様を頭で知るだけでなく心で知るように試練を与えておられるのです。

私たちは万有引力のことを頭で知っています。しかし神様がどのようにして万有引力を造られたのかは知りません。試練を通して神様がいかに知恵に満ち、力に満ちている方である方であることを心で知ることになるのです。

ルカ 1:37

神にとって不可能なことは一つもありません。」